

## 県外派遣審判 報告書

報告者	板谷 修平 (小田原)
大会名	令和6年度第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会
大会期間	令和6年(2024年)8月24日(土)・25日(日)
開催地・会場	山梨県 富士北麓公園体育館・鐘山総合体育館
審判会議・ミーティング・レクチャー等	
日時：2024年8月20日(金) 19:00～ 開催形式：オンライン (ZOOM)	
(1) 挨拶 一般社団法人山梨県バスケットボール協会 専務理事 仙洞田 一郎 氏 一般社団法人山梨県バスケットボール協会 審判部長 佐田 幸一 氏 関東バスケットボール協会 審判委員長 平原 勇次 氏	
(2) 指名審判員 レクチャー テーマ【プレゼンテーション】 佐藤 浩太 氏 (東京) 千葉 美幸 氏 (東京) 内野 翔太 氏 (群馬) 渡邊 整 氏 (栃木)	
■佐藤 浩太 氏 ・プレゼンテーションの大切さ、プロの試合を任せられるかどうか、S級になれるかどうかに関係している。下を向いていないか、シャツにシワがないか、背筋をなばし片足重心になっていないかなどの立ち振る舞いが求められる。 ・細かい部分の立ち振る舞いにもこだわって大切にしてほしい。どの足から出すかなど、トップの人たちは細かい部分にこだわっている。 ・どのカテゴリのゲームでも安心して任せられるような、コート上での強さが求められる。	
■千葉 美幸 氏 ・メラビアン の法則 第一印象や見た目、表情、ボディランゲージが相手に与える割合 55% 3秒から5秒で決まる。 話し方やトーン 38% 聴覚から与える影響。 ・写真を見比べて … レフェリーウェアの着こなしや髪型がどのように相手に印象を与えるか。もう一度自分自身の相手に与える印象はどうなのかを振り返って欲しい。 ・自分だけが分かっているのではなく、伝える相手にどのように見えてどのように伝わるかが大切なので、相手の立場になってどのように見えるのかを考えてデリバリーして欲しい。	
■内野 翔太 氏 ・誰かのコピーをするのではなく、自分の役割やキャラクターを客観視して考えてみてほしい。その中で、ゲームに必要なコーリングとプレゼンを実践して欲しい。 ・ルール通りの判定をしていくのが大前提である。ただ、求められるのは、ゲームの流れに沿った合っているかである。 ・同じ判定をしても、人やライセンスによっては受け入れられ方が違うことがある。自分がどう見られているのかを意識した上でどのようなプレゼンテーションをすれば相手に受け入れてもらえるかを工夫して欲しい。	
■渡邊 整 氏 ・すぐにできることもあれば、時間をかけないとできないこともある。意識を持つことは大切だが、それぞれの現在のライセンスに合わせた今の力を全力で出して欲しい。 ・ルールの理解をベースに判定力を磨いて欲しい。分析し判断し、それをアウトプットしてほしい。判定の根拠を発信する力が弱い人が見受けられるので、良さが隠れてしまっている場合がある。	

・生のゲームを大切にしてほしい。映像では見ることができないものが生のゲームにはたくさんあるので、上級審判員のコミュニケーションやプレゼンテーションなど様々なものを見て学んで、現場で多くの質問を投げかけて、有効な時間にしてもらいたい。

### (3) 審判割当確認

### (4) 連絡事項

- ・試合運営について確認事項(チーム伝達事項)
- ・各係からの連絡(会場・輸送・宿泊・総務・その他)

### (5) 質疑応答

- ・特になし

## 担当ゲーム (ゲーム後のコメント)

2024年 8月24日 (土) 会場：富士北麓公園体育館

少年男子1回戦 埼玉県vs山梨県

CC：松岡 悠貴 氏 (東京) U1：大川 尚 氏 (千葉) U2：板谷 修平

ミーティング担当：増淵 泰久 氏 (栃木)

### 【内容】

- ・A級3人で担当しているので、大きなトラブルなくスムーズにゲームが進行していった印象。その中で、ベンチでコーチ陣や選手が立ち続ける姿に、どのように働きかけていくのが大切である。
- ・審判側がやめさせたいイリーガルなものを伝えるために、プレゼンテーションを工夫し、普段とは違った取り組みにもチャレンジして欲しい。

成年男子1回戦 千葉県vs山梨県

CC：増淵 泰久 氏 (栃木) U1：小澤 朋克 氏 (群馬) U2：板谷 修平

ミーティング担当：大川 尚 氏 (千葉)

### 【内容】

- ・選手やベンチのコントロールが上手くいったと思う。
- ・クルーチーフが要所で取り上げているものを、自分たちで早めに関わり取って決断して欲しい。
- ・ケイデンスでコールした場面のプレゼンテーションに工夫を凝らして欲しい。

2024年 8月25日 (日) 会場：富士北麓公園体育館

少年男子3位決定戦 埼玉県vs群馬県

CC：梶 崇司 氏 (本部) U1：板谷 修平 U2：河野 仁 氏 (山梨)

ミーティング担当：松岡 悠貴 氏 (東京)

### 【内容】

- ・自分のプライマリーで起こるものに序盤からしっかり笛が入っており、問題なくゲームが進んでいった。
- ・外角のシュートが多い試合であったため、2 or 3の確認のため、常に確実にシューターのつま先が確認できる位置へ準備することを心がけて欲しい。

## 大会を通しての感想

国民スポーツ大会関東ブロックに派遣していただき、ありがとうございました。

今年度は、A級審判員として派遣していただき、昨年度とは違った意識での取り組みとなりました。

指名審判員からのレクチャーにもあったように、近年バスケットボールの注目が集まっている中で、審判員としてのプレゼンテーションの大切さがより求められていることを実感しました。ガイドラインに則り判定することが全てではなく、時にはチームや観客が求めているものに審判員が寄り添う必要もあるのだと学びました。

今大会期間中に、県内で教わっていることとは違った角度で多くの方々からお声がけいただき、成長できたと実感しています。この経験を自身のレベルアップに繋げるだけでなく、神奈川県審判員にも伝えていきたいと思っております。

最後になりましたが、今大会運営にあたり、お世話になりました山梨県の大会役員の皆様、指名審判員をはじめ各都県審判員の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。